

JP072 九十九里浜 (くじゅうくりはま)

千葉県：旭市、いすみ市、匝瑳市、山武市、横芝光町、九十九里町、白子町、長生村、一宮町、大網白里町

位置	N 35° 35′ E 140° 31′
面積	19,000ha

環境構成【砂浜】

九十九里浜は、旭市飯岡から大原町までつづく、南北約 60km の長大な砂浜である。北から順に、新川、栗山川、木戸川、作田川、真亀川、南白亀川、一宮川などの中小河川が流入する。

環境構成は、荒波の打ち寄せる砂浜が南北につらなり、その海岸から内陸に向かって、海浜植物群落、防風林の松林が南北に帯状に連なる。また、各河川の河口部では、植生の帯の内側に大小の潟が形成されることが多い。

選定理由

A4i	ミュビシギ
-----	-------

保護指定

サイトの全域（90%以上）に法的な担保がある

<保護指定の内容>

都道府県立自然公園（県立九十九里自然公園）、自然環境保全地域

保全への脅威

- ・九十九里浜の自然環境の問題点＝太平洋の荒波による海岸侵食が進行している。それに対し波消ブロックを多量に投入しており、海岸の景観と植生が大きく変わっている場所がある。
- ・四輪駆動車や乗馬の乗り入れも、海浜植物群落やコアジサシの営巣に悪影響を与えている。
- ・防風林、その周辺のササ藪には毎年サギ類のコロニーができる。以前、違法に重機を入れてコロニーが破壊されたことがある。近年、サギ類のコロニーが作られそうになると、行政指導のもとに林が切り払われ、サギ類の営巣地が奪われる。

保全活動

- ・環境教育活動：実施者（日本野鳥の会千葉県）
内容：一宮川河口探鳥会（随時）
- ・法律制定、政策、規制：実施者（千葉県環境生活部自然保護課）
内容：コアジサシの営巣を保障するために、地元自治体を指導している

見られる鳥

海上では、アビ類、カイツブリ類、ウミスズメ類やウ類が浮かび、カモメ類、トウゾクカモメ類、ミズナギドリ類などが採餌し、潮位によっては海岸近くに寄ってくる。砂浜では、コアジサシやシロチドリが繁殖し、旅鳥のシギ・チドリ類が採餌・休眠の場として利用し、ミユビシギが越冬する。海浜植物群落では、ヒバリなどが繁殖し、渡りの途上のシギ・チドリ類が休息する。防風林の松林とその周辺では、サギ類のコロニーができることが多い。

留鳥	シロチドリ
夏鳥	コアジサシ、サギ類
冬鳥	カイツブリ類、アビ類、クロガモ、ビロードキンクロ、カモメ類、ミユビシギ（総数で 1000 羽ほど）、ミサゴ
旅鳥	シギ・チドリ類
迷鳥	アラナミキンクロ、ハシブトアジサシ

関連団体・自治体・施設等

- ・日本野鳥の会千葉県



Sources: Esri, HERE, DeLorme, TomTom, Intermap, increment P Corp., GEBCO, USGS, FAO, NPS, NRCAN, GeoBase, IGN, Kadaster NL, Ordnance Survey, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), swisstopo, MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community